

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

- ALP(アルカリホスファターゼ)/IFCC (依頼コード No.13067)
- LD(乳酸デヒドロゲナーゼ)/IFCC (依頼コード No.13380)

受託開始日 2020年4月1日(水) 受付分より

ALPおよびLDの測定法について、日本臨床化学会より「2020年4月から現在のJSCC法をIFCC処方方法(改定JSCC法)へ変更する(猶予期間1年)」と発表がありました。

これに伴い、弊社ではIFCC法(改定JSCC法)の新規受託を開始いたします。

なお、現行のJSCC法は1年間に限り受託を継続いたしますが、できるだけ早い時期での項目移行をお勧めいたします。

- 当該検査の受託開始に伴い、現行のALP/JSCC法(依頼コードNo.00483)とLD/JSCC法(依頼コードNo.00496)は2021年3月31日(水)受付分をもちまして検査の受託中止を予定しております。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



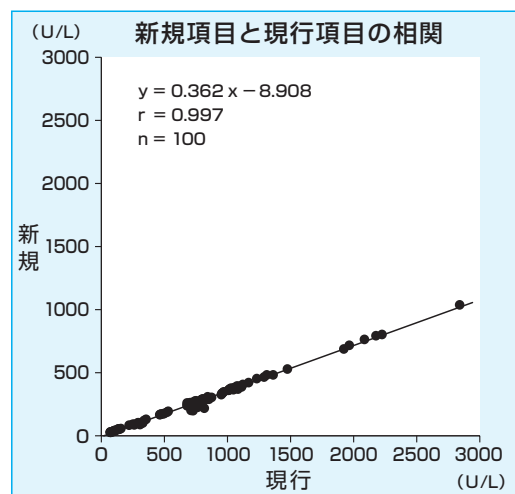
電子カルテはビー・エム・エル



受託要領

	新規受託開始項目	ご参考：現行の内容
依頼コードNo	13067	00483
検査項目名	ALP/IFCC	ALP
統一コード	3B070-0000-023-271	同左
検体必要量	血清 0.5mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	1~2	同左
検査方法	比色法(IFCC法)	比色法(JSCC標準化対応法)
基準値	38~113	104~338(成人)
単位	U/L	同左
報告範囲	0~70000 上限を超えた場合、別紙報告	2以下~300000 上限値を超えた場合、別紙報告
報告桁数	整数	同左
検査実施料/判断料	11点/144点(生化学的検査(I))	同左

ご参考：相関図



自社検討資料

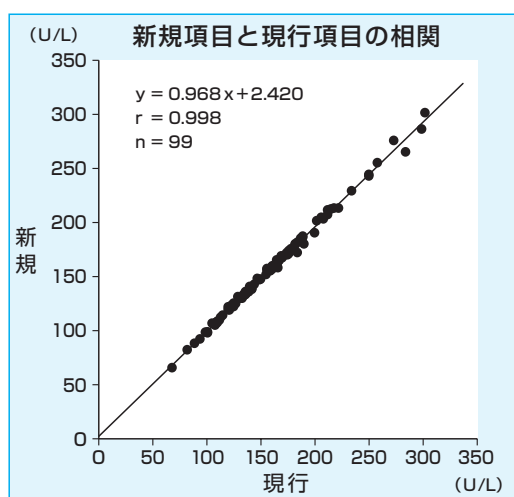
【検査方法の参考文献】

Schumann G. et al.: Clin Chem Lab Med 49(9), 1439-1446, 2011.

受託要領

	新規受託開始項目	ご参考：現行の内容
依頼コードNo	13380	00496
検査項目名	LD/IFCC	LD
統一コード	3B050-0000-023-272	同左
検体必要量	血清 0.5mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	室温	同左
所要日数	1~2	同左
検査方法	UV法(IFCC法)	UV法(JSCC標準化対応法)
基準値	120~245	同左
単位	U/L	同左
報告範囲	4以下~130000 上限を超えた場合、別紙報告	5以下~130000 上限値を超えた場合、別紙報告
報告桁数	整数	同左
検査実施料/判断料	11点/144点(生化学的検査(I))	同左

ご参考：相関図



自社検討資料

【検査方法の参考文献】

Tietz Textbook of Clinical Chemistry and Molecular Diagnostics, 4th Ed. 602, 2006.

補足情報

ALP

ALP/IFCCについて、日本臨床化学会の資料には、次のように記載されています。

- 測定値が(現行のJSCC法に比べて)1/3程度の数値になります。
- ALPについて、「換算係数」は次のとおりです。
 - ・JSCC法測定値からIFCC法測定値に換算：0.35倍
 - ・IFCC法測定値からJSCC法測定値に換算：2.84倍
- 変更前後の値の換算には限界があります。

IFCC法に変更することで血液型B,O型では小腸型ALPを含む検体で低めになり、逆に妊婦では胎盤性ALPが増加することにより高めに測定されます。

LD

LD/IFCCについては、日本臨床化学会の資料には、次のように記載されています。

- 変更前後の測定値の差が軽微であり、健常者の測定値は許容誤差範囲内の変化であることから、現状の共用基準範囲を変更する必要はありません。
- 「換算係数」については、『換算せず、そのままの測定値を使ってください。』
- LD5優位検体では現行のJSCC法に対して低めの活性になります。

(LD5が50%の症例では測定値の差は20%未満)

【参考URL】

一般社団法人 日本臨床化学会 「ALP、LDの測定方法の変更に関するご案内」
(<http://jsc.jp/>)